

平成21年度地区懇談会まとめ

- 1 期 日 平成21年9月5日(土) 9:30~11:00
- 2 会 場 岩倉市立南部中学校
- 3 内 容 テーマ・・・「あつまれ ちくわ(地区)」
5分科会・・・使えるAED
親の成長・子の成長
知って得するネットの怖い話
子どもを犯罪から守る
あなたメタボっていませんか?



使えるAED 講師 岩倉市消防署員 [参加者21名]

岩倉市消防署より2名の署員の方に来ていただき、「心肺蘇生法」「AEDの使い方」の説明及び実際の機材を使った実習を行いました。

心肺蘇生法

要救助者の意識の無いことを確認

人を呼ぶ(大勢の人に声を掛ける・中に医者がいないか確認)

救急車の要請(意識の無いことを伝える)

AEDの要請(探して持ってきてもらう)

呼吸の確認 なし

人工呼吸を行う 気道の確保(仰向けで顎を突き出させる)

臍マッサージ30回 人工呼吸を繰り返す。



使えるAED

人工呼吸を行う 気道の確保(仰向けで顎を突き出させる)

臍マッサージ30回 人工呼吸を繰り返す。

AEDが到着

確認作業(胸毛、水気、ペースメーカー、貼付薬、金属類の無いことを確認)

AEDのスイッチを入れ、音声ガイダンスに従って操作する。

参加者の感想

- ・実際にこのような場面に出くわした時に、はたしてうまく行うことが出来るか不安はあるが、一度経験した事により行動の流れだけでも知ることが出来、心の余裕が生まれると思う。
- ・大変役に立つと思うし、参加して大変よかった。
- ・臍マッサージにはかなりの力と体力が必要だということが分かったので、男性にも参加をして欲しい。
- ・以前にも体験したが、前回から日数が経っていると忘れてしまっていることもあるので、定期的に講習を受けるのも必だかと思う。

質疑・応答

Q: 携帯で119番通報すると何処の消防署にかかるのか?

A: 近くの消防署にかかります。

Q: AEDの電気ショックでは実際にはどれくらい跳ね上がるのか?

A: 電気ショックではこれぐらいだろうと思います、と、実際に跳ね上がって見せて頂きました。

親の成長・子の成長

[参加者29名]

参加者は3グループに分かれ、先生方も一人の保護者として懇談に参加していただき、話しやすい雰囲気です。どのグループも「子どもの反抗期」について話題になりました。

Q: 学校であったことをなど余り話をしなくなった。

A: 反抗期=成長期 物事を自分なりに受け止め処理しようとしているのでは。待ちの姿勢で接していれば、聞いてほしいことがあればむこうから話をしてくるはず。

Q: 親に近づいてほしくないような態度を取り、何か言うと「ウザイ」という返事

A: いろいろな人と小さい頃から接していれば「ウザイ」と口に出す子にはならない。何か言われてもとっさに判断できる能力を身につけるからだ。そして皆と仲良くすることができる。

A: 親は子どもの様子を見守り、お腹のすいた時に手作りの温かいご飯がすぐ食べられるような(必要なときに手がさしのべられる)準備をすればよいのでは。

Q: よその子を注意すると相手の親に怒られたり、「お前の母さんはうるさい」といじめの原因にならないか心配。

A: 親もいろいろな人がいるので難しいが、いきなり注意するのではなく、まず優しく声をかけ、それでも危険な行為やルール違反をするようであれば厳しく注意してはどうだろうか。

A: 勇気を持って「あのお母さんは怖い」という印象を付けてもいいと思う。意外に子どもたちはそういう人の言うことを素直に聞く。

先生方からのメッセージ

将来何がやりたいかは、子どもが自分で考えて決めるまで待つこと。自分で選択しそれを認めてもらった自信があれば、子どもはその後自分で進んでいくことができる。

家庭が安心できる場所であれば、外の世界でどんな状態であってもやっていける。他の子と比較せず、不安や失敗などありのままを受け止めてあげる。

子どもの教育で大切だと思うことは、よい人間関係を築く力を身につけ、配慮のできる人になってほしいということ。

いくつになっても親は子どもが心配。今の心配を懐かしく思う日も来るはず。今のこの時の子どもをしっかりと受け止め、ジタバタしながら懸命に、楽しみながら子育てしましょう。

参加者の感想

- ・子の成長をどう見守ったらよいのか、それぞれの家庭の様子が参考になった
- ・みなさんと同じ悩みなどがあって、意見などが聞いてよかった。
- ・講師の先生をお呼びして「講演+話し合い」という形でもよかったと思う。
- ・先生方の親としての声が聞いて参考になった。親もネットワークを持つのは大事だと感じた。
- ・楽しかった。子の成長はもちろんだが、親の成長も必要だと思った。
- ・自分の子どもを信じ愛情を持って子育てしようと思う。



インターネット犯罪の被害者・加害者にならないために

[参加者20名]

講師 愛知県警察本部 生活安全部

情報セキュリティアドバイザー 山田達也さん

世界中のインターネットが10億台以上あるのではといわれている巨大ネットワーク。インターネットの問題点とその対策をお話していただきました。

現状

現在、児童の携帯所持率は小学生25%、中学生50%、高校生90%。ネット端末機能を利用することで引き起こされるサイバー犯罪(コピーDVD、ID・パスワードの窃盗、未承認薬品の売買など)がH16~20の4年間で検挙数3倍に。

主なサイバー犯罪

- オンラインゲーム** 不正アクセス禁止法違反 グループ同士の対戦でパスワードを教えあうなどしていくうちアイテムを盗み別のゲーム参加者に売り渡す
- 出会い系サイト** 出会い系サイト規正法違反 メール交換ののち実際に会ってしまうと画像と違う相手に声をかけられビデオや写真を撮られる。児童に対しての援助目的の書き込みだけでも逮捕となる。
- 架空・不当請求メール** 利用した覚えのないサイトの料金請求は無視する。絶対相手に連絡しない。むやみにクリックしない…ウィルスや悪質なプログラムに感染することも。
- ブログ・プロフのトラブル** 掲示板、ホームページ、ブログでの書き込みで傷害事件や自殺に追い込まれることも。写真など一度掲載すると消せないで顔写真などを掲載しないこと。またネット上での犯行予告や脅迫メールはいたずらでは済まされない。警察が捜査すれば誰がやったかわかるので十分注意する。

対策

パスワードは教えない！人のパスワードは使わない！ ネットで知り合った人とは合わない！
違法な画像などを集めない！渡さない！ 個人の情報を入力しない！公開しない！ 迷惑メールには畏が…見ないで削除。トラブルがあったら大人に相談させる（両親、先生、警察など）。話しづらいときは愛知県警ホームページからメールで。

参加者の感想

- ・今はやりのブログや出会い系募集の掲示板、無料オンラインゲームの落とし穴など、若い世代が巻き込まれる複雑化したネット社会の現状をどれだけの大人が把握できているのだろうか？にもかかわらず、小中学生に、大人の管理下以外で使わせるのは、やはり疑問が残る。
- ・実際に困った時に警察本部のサイバー犯罪窓口で電話やメールで相談できると聞き、安心した。



- ・サイバー犯罪の事は漠然と知っていたつもりが、現状はそれ以上に怖い事を痛感した。使用には、親子で話し合っ規則を守り、信頼するようにしたい。
- ・子供に使わせても良いと思っているが、その前に子供が成長するにつれ、自分も現状を把握する必要があるし、その上でネット犯罪の怖さを教えてからにしないといけないと思った。
- ・チェーンメールなど安易な使用で、犯罪になりうる恐ろしさを知ったし、パスワード・メルアドの管理が甘かったと反省した。
- ・詳しくわかりやすい講習で非常によかったが、参加者の話し合いの時間があればもっと良かったと思う。

子どもを犯罪から守る

講師 江南警察生活安全課 立松孝一さん [参加者22名]

警察の方のお話

- ・江南警察署管内で起きている犯罪のうち、約半分が岩倉市内で起きている。
- ・今年は121件も昨年に比べ多くなっている。一番多い犯罪は自転車泥棒、今年225台、昨年より49件増えている。
- ・次に車のカーナビなどをねらった泥棒が23件。
- ・盗まれる自転車は中高生の無施錠の物が多い。盗む犯人は、40%が中・高校生。
- ・不審者・露出者も多い。変な人に声をかけられたら子ども110番へ駆け込む。大声を出す。防犯ブザーを鳴らす。日頃から、大声を出す練習、防犯ブザーを鳴らす練習をすると良い。
- ・家庭での親子の会話や話し合いが防犯につながる。家族でのコミュニケーションが大切。まずあいさつからきちんとやってほしい。
- ・子ども達を犯罪から守るには、家庭の中での会話、地域の人達も注意し、守っていく。
- ・青色回転等の車(自主防犯活動する車)でのパトロールも始まっている。

来賓の方のお話

- ・最近子ども達は、夏休み明けだが、色が白い子が多く、元気がないように思う。子どもに話しかけても逃げていってしまう子が多い。地域でコミュニケーションがとれていて、安心して生活できる環境を作っていくことが大切なことではないか。

参加者の感想

- ・地域の方の意見が聞けて良かった。家庭・地域の人々の協力が必要かと思った。
- ・小学校でのあいさつ、声かけ運動をもっともっと進めてほしい。
- ・子どもと一緒に朝・晩ニュースを見て、話し合っている。
- ・子どもを犯罪から守ったりする為には、親を教育する機会を多くつくってほしい。



あなたメタボってませんか

講師 岩倉市保健センター 児玉三穂子さん [参加者32名]

講師の方が用意された資料を使いながら、メタボリックシンドロームについて講演をされました。最初に、内臓脂肪かたまり(1kg)のサンプルを見せてもらいました。

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪に加えて、軽度でも血中脂質異常、血圧高値、高血糖といった生活習慣病の危険因子をあわせ持っている次のような状態をいう。

A、腹囲(おへその高さで測る)男性で85cm以上、女性で90cm以上ある。

B、次のうち、2つ以上当てはまる項目がある 《血中脂質異常、高血圧、高血糖》

AとBに当てはまらなくても、BMIが25以上の人は減量が必要です。

メタボリックシンドロームを予防するには？

「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後に薬」これが、キーワードです。無理なく内臓脂肪を減らすには、「運動と食事バランスよく」

1日に食べてほしい量

- ・主菜=成長期は、手のひらの外回りの大きさ、それ以外は手のひらの内回りの大きさ
- ・副菜=野菜はたっぷり両手に1日3杯。1杯は緑や赤、黄色の野菜の仲間、2杯は包丁で切ると中が白い野菜の仲間、海藻等。
- ・主食=毎食、茶わんに軽く1杯~1杯半、じゃがいも中1個、牛乳1本(200ml)
- ・果物=親指人差し指で丸を作って、この輪を通すくらいの果物を1個

子どものダイエットは危険

特に女性(女の子)は、女性ホルモンに影響を与え、骨もスカスカになってしまう。子どもの場合は、食事をきちんと摂って、運動で減らすようにする。

参加者の感想

- ・一日に必要なエネルギー量が分かったので、食事や運動で気を付けたいと思った。
- ・毎夜、五条川沿いを歩いています。歩き方に意識して続けたいと思っている。
- ・体験も交えて行えたので良かった。
- ・自分の体の実態がわかり、目標となる数値が分かって良かった。
- ・実際に数値を出すことで、危機感を感じました。楽しくストレッチ、ウォーキングを教えていただき参加して良かった。
- ・今日の講座を参考に、きれいな体型作りしていきたいと思う。
- ・講義と運動と両方あり、有意義な半日でした。運動の時間がもう少し多くても良かったかも。
- ・体を動かすことが少ないので、今日はすごく楽しかった。来年もまた来たい。
- ・とても分かりやすい説明でした。運動をもっと紹介していただくと良かったが、時間が少なくて残念です。
- ・自分が思っていたより、以外と食事、摂取カロリーが高いというのが分かった。これからは、運動と食事バランスの良い生活をしていきたい。

